

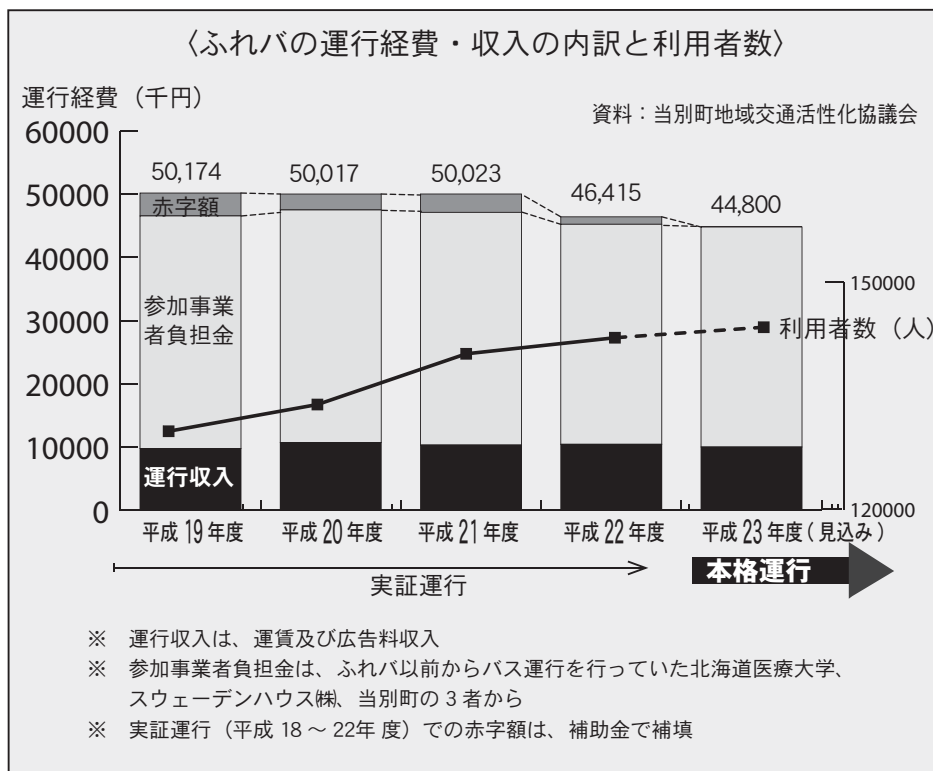
# 「地域の足」を確保せよ VOL.2



## その2 ふれバの 未来は！



町民の生活を支える上で大切な「公共交通機関」。今回は自家用車の普及により地方バス路線が衰退する中、官民あがての路線統合で「ふれバ」が誕生。その効率的な運行システム、環境に優しいバイオディーゼル燃料の利用など、コミュニティバス運行にかける熱意を紹介してきました。今号は、その「ふれバ」の直面している課題、利用者の声などをお届けします。



### ①運行コストと採算を考える！

今年度から始まる補助金に頼らない本格運行では、これまでの実証運行の経験から利用者の少ない時間帯のダイヤを減便するなど運行経費を縮減（バス5台→4台など）し、収支のバランスをとっています。

今後もふれバの運行を継続するためには、バス利用者の増加による安定した運行収入の増加が必要です。そのためには、人口の多い市街地循環線などの利用率を上げることが重要な課題となります。

例えば、朝夕の通勤・通学時間帯のダイヤを、JRとの接続や増便により充実させるためには、バス運行台数を増やす必要があります。現在4台での運行経費は4千5百万円ですが、5台での運行では5千万円以上の経費となります。平成23年度の収入見込みとの差額は5百万円以上になりますが、利用者数の増加・収入の増加が採算性につながるのか？が問題になるわけです。





# 当別ふれあいバス 路線図

凡例

- (ピンク) 市街地循環線
- (青) 西当別・あいの里線
- (緑) みどり野・青山線
- (橙) 金沢線
- (紫) フリー乗車区間

**フリー乗車区間**  
 ・バス停以外でも乗り降りできる区間です。  
 ・バス停以外で乗るときは手をあげてください。  
 ・降りるときは運転手に声をかけください。

- 00 バス停
- 応援券売り場
- 🔥 廃油回収場所
- 公共施設、病院、お店

## ② ふれバの路線を見てみる



当別駅周辺



太美駅周辺

2



当別駅周辺

1

スウェーデンヒルズ周辺



太美駅周辺

2

あいの里周辺



ふれバの停留所は全部で71箇所、停留所から半径300m以内では当別の人口の70%をカバーし、全ての医療機関に近接しています。(半径500mではカバー率は80%以上に)

ふれバの乗降は、市街地の郊外ではどこからでも乗れるフリー乗車区間を設けています。

ふれバの路線延長は52km

1日に走る距離は合計で916km(平日)になり、1年間では地球を6周半まわる距離になります。

